

平成 29 年度第 3 回函館市生活交通協議会会議録	
開催日時	平成 29 年 12 月 26 日（火） 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	函館市役所 8 階大会議室
議 題	(1) 正副会長および監事の選任について (2) 立地適正化計画について（報告） (3) 函館市地域公共交通網形成計画の進捗状況について（報告） (4) 地域公共交通確保維持改善事業評価について (5) 地域公共交通バリア解消促進等事業について (6) その他
出席者	協議会委員 (計 22 名) 奥平委員，木村委員，森委員，渡部委員，武下委員，佐々木委員，富樫委員， 鈴木委員，杉澤委員，谷内(眞)委員，菊地委員，工藤委員，上野委員，三上委員， 種田委員，川村委員，上野山委員，佐藤委員 横田委員（一般社団法人函館地区ハイヤー協会専務理事 辻廣氏 代理出席）， 滝野澤委員（函館地区交通運輸産業労働組合協議会議長 佐々木氏 代理出席） 谷内(敬)委員（北海道開発局函館開発建設部道路計画課道路調査官 別府氏 代理出席）， 穴田委員（北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課企画規制係長 三上氏 代理出席） ワーキンググループ委員 (計 1 名) 宿村委員 議題等関係者 (計 6 名) 北海道旅客鉄道(株) 株式会社経営企画部主幹 鈴木 智之 氏 函館バス(株) 取締役バス事業部長 内澤 博昭 氏 函館バス(株) バス事業部次長 金岩 祐也 氏 函館市都市建設部都市計画課長 神 重幸 氏 函館市都市建設部都市計画課主査 溝江 隆紀 氏 函館市企業局交通部施設課長 廣瀬 弘司 氏 報道関係 (計 1 社) 傍聴者 (計 2 名)
欠席者	協議会委員 (計 3 名) 大橋委員，目時委員，田畑委員
事務局の出席者の職氏名	企画部計画推進室 室長 田畑 聡文 企画部計画推進室政策推進課 主査 江良 規生 企画部計画推進室政策推進課 主事 田中 勇大

1 開 会

2 議 題

(1) 正副会長および監事の選任について

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(当日配付資料「函館市生活交通協議会設置要綱」に基づき説明)

- ・ 本協議会は、設置要綱第5条第1項の規定により、会長および副会長を各1名、監事を2名置くこととなっており、同条第2項の規定により、会長は、委員の互選により定め、副会長は、会長が指名することとされている。また、同条第5項の規定では監事は、委員の互選により定めるとされている。
- ・ まずは、会長の選任についていかがか。

<事務局に一任との声あり>

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 事務局に一任との声をいただいたので、事務局としては、前任期に引き続き奥平委員に会長をお願いしたいがいかがか。

<一同了承>

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 奥平委員、承諾いただけるか。

<奥平委員承諾>

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ それでは、今後の進行については、奥平会長をお願いしたい。よろしくお願ひ申し上げる。

【奥平会長】

- ・ それでは、副会長の選任についてだが、9月まで副会長を務めていただいていた種田委員に引き続きお願いしたい。

<種田委員承諾>

【奥平会長】

- ・ 次に監事の選任について、委員の互選によるということだが、皆様いかがか。

<会長に一任との声あり>

【奥平会長】

- ・ 会長に一任との声をいただいたので、私としては、まず、9月まで監事を務めていただいていた渡島総合振興局の谷内委員にお願いしたいが、皆様いかがか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ では、谷内委員、承諾いただけるか。

<谷内委員承諾>

【奥平会長】

- ・ また、もう1名の監事については、大橋委員にお願いしたいが、本日欠席のため、この場合について事務局いかがか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 事務局において、事前に大橋委員のご意向を確認しており、監事就任の依頼があった場合には、就任ご了承いただけるとの回答をいただいている。

【奥平会長】

- ・ それでは、もう1名の監事は大橋委員にお願いしたいが、皆様いかがか。

<一同了承>

(2) 立地適正化計画について（報告）

【奥平会長】

- ・ 議題(2)の報告事項「立地適正化計画について」、資料に基づき、都市建設部から説明をお願いします。

【函館市都市建設部都市計画課／溝江主査】

(資料1に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【奥平会長】

- ・ 誘導施設として高等教育施設を掲げているが、現在、都市機能誘導区域内には施設が所在しないものがある。これは、区域外の既存施設を誘導区域に移転しようというお考えか。

【函館市都市建設部都市計画課／溝江主査】

- ・ 都市構造分析の結果、函館市においては現在、おおよその施設が充足していると捉えており、将来的に人口が減少しても、現在の施設を維持していくという趣旨から誘導施設を設定している。
- ・ 例えば、4地区ある都市機能誘導区域のうち、十字街地区には高等教育施設が所在していないが、各地区にあることが望ましいとの考えから誘導施設に加えている。
- ・ 誘導施設として法的な位置付けをすることにより、民間における新規施設の設置を促すとともに、支援措置などのインセンティブを与えることで誘導を進めることが想定される。

【奥平会長】

- ・ 他に質問等なければ本報告については以上とし、次の議題に移らせていただく。

(3) 函館市地域公共交通網形成計画の進捗状況について (報告)

【奥平会長】

- ・ 議題(3)の報告事項「函館市地域公共交通網形成計画の進捗状況について」、資料に基づき、事務局から説明をお願いする。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(資料2に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【奥平会長】

- ・ 質問等なければ本報告については以上とし、次の議題に移らせていただく。

(4) 地域公共交通確保維持改善事業評価について

【奥平会長】

- ・ 議題(4)の「地域公共交通確保維持改善事業評価について」、資料に基づき、函館市企業局から説明をお願いします。

【企業局】

(資料3に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【武下委員】

- ・ 資料3-1の事業費内訳に自己資金という項目があるが、何を指すのか。

【企業局交通部／廣瀬施設課長】

- ・ 企業局は公営企業として、市電の運賃収入で経費を賄うことが原則であり、自己資金とは、当該部分から支出した費用を指す。
- ・ なお、函館市の負担分というのは、一般会計、つまり税金からのご負担により補助をいただいた部分である。

【三上委員】

- ・ 軌道改良の進捗状況および今後の予定についてご教示願いたい。

【企業局交通部／廣瀬施設課長】

- ・ 経験に基づき、軌道改良後30年程度は設備を維持可能と考えている。
- ・ 路線の総延長が10.9キロメートルであるので、毎年300メートル程度軌道改良を実施すれば、全線の維持が可能となる。

【富樫委員】

- ・ 高齢者はデイサービス等を利用するため、電車やバスを利用しなくなっていると聞き及んでいるが、利用者数に影響は現れているか。

【企業局交通部／廣瀬施設課長】

- ・ 具体的な調査は実施していないが、相当の影響が出ているものと考えている。
- ・ 市電もさることながら、バスにおいては広範囲に運行を展開している分、影響はより大きいのではないか。

【富樫委員】

- ・ 今後も高齢者の増加が想定される場所、こういった問題に対する調査や検討を実施すべきではないか。

【奥平会長】

- ・ 事業者においてはご検討いただきたい。

【奥平会長】

- ・ 他に意見がなければ、協議会として国へ評価を提出するというところでよろしいか。

<一同了承>

(5) 地域公共交通バリア解消促進等事業について

【奥平会長】

- ・ 議題(5)の「地域公共交通バリア解消促進等事業について」、資料に基づき、北海道旅客鉄道株式会社から説明をお願いします。

【北海道旅客鉄道株式会社経営企画部／鈴木主幹】

(資料4に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

【奥平会長】

- ・ 資料4-2の8番に利用者等の意見の反映状況について、意見聴取をこれから実施するものであれば、期間は平成30年1月とし、文面も「意見を募集する」と改めるべきではないか。

【北海道旅客鉄道株式会社経営企画部／鈴木主幹】

- ・ 修正させていただく。

【奥平会長】

- ・ 他に意見がなければ，協議会として原案を承認し，次回協議会において利用者等の意見を踏まえた事業計画案をご提出いただくということによろしいか。

<一同了承>

(6) その他

【奥平会長】

- ・ 議題(6)の「その他」について，皆様から何かあるか。

【佐々木委員】

- ・ 今年は降雪量が多く，歩道の除雪がなされていない。
- ・ バス乗降所の雪かきが不十分であり，乗降に手間取ることで遅延の原因ともなっているのではないか。
- ・ 住宅街の縁石に排出された雪が積み上げられ，車がすれ違えない状況になっている。
- ・ 雪道を自転車で走向する高齢者が見られ，交通が困難となっている。
- ・ 遅延が常態化しているため，バス停において，バスがこれから到着するか，発車した後なのか，利用者には分からないまま待たされている。
- ・ 本協議会は公共交通に係る協議の場であるが，こういった状況のなかで，バス路線だけではなく，冬期間の道路状況や高齢者・障害者の外出困難といった問題についても検討が必要と考え，問題提起させていただいた。

【事務局／函館市企画部計画推進室：宿村課長】

- ・ 除雪について，市の所管部局が出席していないため，はっきりとしたお答えはできないが，幹線となる道路やバス道路については優先的に除雪を行っているとお聞きしている。
- ・ 今年は一時期に大量の降雪があったため，除雪が追いついていない部分があるかと思う。また，住宅街等の生活道路について，全ての道路を一時に除雪することは困難であるが，順々に除雪を実施しているとお聞きしているので，お時間をいただきたい。
- ・ 雪道における自転車走行の危険性については認識しており，市民部においても注意喚起を実施しているとお聞きしている。
- ・ 本日いただいたご意見は，各所管部局にもお伝えし，対応を検討したい。

【函館バス株式会社バス事業部／内澤部長】

- ・ バス停の状況について，本年は記録的な大雪のため，除雪が行き届いてお

らずご迷惑をおかけしているが、市内に約2千基のバス停があるなか、主要バス停から優先順位をつけて除雪を実施している。

- ・ 大雪が降った際には都度除雪に出動しているが、それとは別に、お客様からのお声があった場合には出向いて対応することとしている。
- ・ 引き続き、バス停周辺の除雪については、可能な限りの対策を取ってまいりたい。

【佐々木委員】

- ・ 困難な状況は理解するが、利用者に不便をかけないようにしないと、冬季のバス利用は伸びないのではないか。
- ・ この問題への対策が函館バスのみの負担によるべきかということを含め、皆様に改めてお考えいただきたい。

【奥平会長】

- ・ 検討は重要であるが、人員および予算の問題があると思われる。
- ・ これから人口減による税収の減少が見込まれるなか、すべてを任せてしまうのではなく、市民の意識・モラルの向上も必要になる。
- ・ 関係機関においては鋭意検討を進めていただきたい。

【奥平会長】

- ・ 他に事務局から何かあるか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】

- ・ 次回協議会の開催時期は未定であり、日程が近付いたら改めてご案内する。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

4 閉 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】